

令和4年度(2022年)  
認定看護管理者教育課程  
サードレベル

募集要項

【募集期間延長】



公益社団法人 静岡県看護協会

公益社団法人静岡県看護協会 認定看護管理者教育課程サードレベル  
令和4年度(2022年)募集要項

1 教育理念

多様なヘルスニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することをめざし、一定の基準に基づいた看護管理者を育成する体制を整え、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献する。

本教育機関は、自律的研鑽を求める教育・学究の場となることを意図し、変動する環境に適応し発展へ向けて挑戦し続けられる人材を育成する。ひいては、認定看護管理者の社会的認知をもたらす人材の輩出をめざす。

2 教育目的

多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

3 到達目標

- 1) 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。
- 2) 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
- 3) 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

4 教育課程

	教科目	時間数
カリキュラム基準	ヘルスケアシステム論Ⅲ	30 時間
	組織管理論Ⅲ	30 時間
	人材管理Ⅲ	18 時間
	資源管理Ⅲ	30 時間
	質管理Ⅲ	30 時間
	統合演習Ⅲ	48 時間
総時間数		186 時間

5 教育課程修了要件

- 1) 各教科目時間数の 4/5 以上の出席があること
- 2) 6 教科目すべてに合格していること

6 実施機関

公益社団法人 静岡県看護協会

7 主たる会場

静岡県看護協会会館(静岡市駿河区南町 14 番 25 号 エスパティオ3階)

8 開催期間

令和4年7月1日(金) ～ 10月26日(水) 34日間(実習を含む)

\* 土日・祝日にも講義あり

## 9 受講要件

下記の 1)～3)の要件をすべて満たしている者

- 1) 日本国の看護師免許を有する者
- 2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算して5年以上ある者
- 3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

## 10 定員 30名

## 11 受講料

- 1) 受講料(修了審査料を含む)  
令和4年度 日本看護協会会員 297,000円(税込)  
非会員 445,500円(税込)
- 2) その他 資料代 5,000円(税込)

## 12 受講申込方法

- 1) 申込期間 令和4年4月1日(金)～4月11日(月)12時必着 ⇒ 4月21日(木)12時必着

### 2) 提出書類等

(1) 令和4年度認定看護管理者教育課程サードレベル受講申込書(様式1)

(2) 看護師免許証の写し(A4縮小コピー)

(3) セカンドレベル修了証の写し … セカンドレベルを修了している者  
または職位証明書(様式2) … 受講要件3)の看護部長、副看護部長の職位の者

### (4) 小論文

#### 【課題】

トップマネジャーの視点で、保健・医療・福祉の動向を踏まえ、自施設の看護管理上の課題を一つ取りあげ、テーマをつけて、以下の内容を含め述べなさい。

- ① 課題を取りあげた背景と根拠
- ② 課題解決によって期待される成果
- ③ 取り組みの実際もしくは計画
- ④ この取り組みに対するトップマネジャーとしての自己の管理課題

【用紙サイズ・枚数】 A4(縦長・横書)1枚、表紙不要。テーマ、職位、氏名を記載する。

【様式】 MSP 明朝 10.5ポイント、余白は上を25mm空ける。

【文字数】 本文1800字程度(引用・参考文献の記載は不要)  
文末に文字数を記載する。

### (5) 返信用封筒

角形2号封筒 240×332mm(住所氏名を明記し140円切手を貼付)を提出書類とともに同封してください。

### (6) 申込書類の記載漏れがないように記載し、提出前にご確認ください。

3) 受験料

5,000 円(会員・非会員共通、税込) 振込手数料別

振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 00830-9-100450 加入者 公益社団法人 静岡県看護協会
--

- \* 払込取扱票の通信欄と受領証のご依頼人の欄に「サードレベル教育課程受験料」と記載し、勤務先、氏名を明記してください。
- \* 払込金受領証のコピーを受講申込書(様式1)の裏面に貼付してください。
- \* 払込金受領証を受験料の領収書とし、原則として新たな領収書の発行は致しません。
- \* 振込手数料は各自でご負担ください。

4) 提出先

〒422-8067 静岡市駿河区南町 14-25 エスパティオ 3 階

公益社団法人静岡県看護協会 教育研修部宛

※封筒表面に「サードレベル受講申込在中」と朱書きしてください。

13 受講決定

1) サードレベル受講審査会で必要種類と小論文を審査のうえ受講決定する。

2) 小論文審査(評価基準)

項目	評価の視点
1 課題の理解	① 与えられた課題に沿った内容である。 ② トップマネジャーの視点でみた取り組み課題である。
2 活動内容の明確化	① 自施設の現状が簡潔で適切な内容で記載されている。 ② 自施設の理念・運営方針を網羅した課題と目標が示されている。 ③ 自らの働きかけとその結果・評価を客観的に述べている。 ④ この取り組みへのトップマネジャーとしての課題を述べている。 ⑤ 看護管理者としての考え方、姿勢、信条がうかがえる。 ⑥ 記述に倫理的な配慮がある。
3 文章表現	① 文章が明確でわかりやすい。 ② 規定に基づいて記述され、誤字・脱字などの表記に誤りがない。

3) 受講決定の通知

令和4年5月下旬に、応募者本人宛に受講の可否を通知する。

6月初旬を過ぎても通知が届かない場合は、教育研修部までご連絡ください。

14 問合せ先

静岡県看護協会 教育研修部

〒422-8067 静岡市駿河区南町 14 番 25 号 エスパティオ 3 階 TEL(054)202-1760

提出書類チェックリスト

書類 要件	受講申込書	看護師免許証の写し	セカンドレベル受講証明書写し	職位証明書	小論文	返信用封筒
	様式 1	A4 縮小コピー		様式 2		角形 2 号 140 円切手貼付
認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者	○	○	○		○	○
看護部長相当の職位にある者 または、副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者	○	○		○	○	○

令和4年度 認定看護管理者教育課程サードレベル カリキュラム

【教育目的】 公益社団法人静岡県看護協会  
 多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

- 【到達目標】
1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。
  2. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
  3. 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

教科目	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論Ⅲ	社会保障制度・政策の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の将来ビジョン</li> <li>・グローバルな視点から見た保健医療福祉</li> <li>・WHOの活動、国連SDGs等</li> <li>・静岡県における健康福祉政策</li> </ul>	30
	看護制度・政策の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護制度の変遷と政策</li> <li>・看護政策に関する審議会、検討会</li> <li>・制度変化に伴う看護管理への影響と対応</li> <li>・看護戦略とパワーの活用</li> <li>・職能団体による政策への影響力</li> </ul>	
	ヘルスケアサービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスケアサービスのマーケティング</li> <li>・社会的企業(ソーシャルエンタープライズ)</li> <li>・NGO、NPOのヘルスケアサービス</li> <li>・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス</li> <li>・在宅におけるヘルスケアサービス</li> <li>・ヘルスケアサービスのシステム構築</li> <li>・看護事業の開発と企業</li> <li>・テクノロジーの活用</li> <li>・地域連携の実践報告</li> </ul>	
組織管理論Ⅲ	組織デザインと組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織のデザイン</li> <li>・組織間ネットワークのデザイン</li> <li>・地域連携ネットワークのデザイン</li> <li>・ダイバーシティ</li> <li>・看護部組織のデザイン</li> <li>・組織運営に必要な能力</li> <li>・経営者に求められる役割と必要な能力</li> <li>・組織戦略とパワーの活用</li> <li>・経営者としての成長と熟練</li> <li>・組織運営の実際</li> </ul>	30
	組織における倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織における倫理的課題</li> <li>・倫理的課題に対する組織的対応</li> </ul>	
人材管理Ⅲ	社会システムと労務管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金制度</li> <li>・人事考課</li> <li>・労働関係法規の最新の動向</li> <li>・建設的な労使関係の構築</li> <li>・ハラスメントの組織的対応</li> <li>・人材フローのマネジメント</li> <li>・能力評価のためのシステムの構築</li> </ul>	18
	看護管理者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者の能力開発、活用</li> </ul>	
資源管理Ⅲ	経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療経営の特徴と課題</li> <li>・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題</li> <li>・戦略策定</li> <li>・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の実際</li> </ul>	30
	財務管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計</li> <li>・管理会計</li> <li>・資金管理</li> </ul>	
	組織的情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連法規の遵守</li> <li>・地域における情報共有・活用</li> </ul>	
質管理Ⅲ	経営と質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガバナンスとアカウンタビリティ</li> <li>・医療・看護の質とデータ活用</li> <li>・第三者評価</li> <li>・質管理の実際</li> </ul>	30
	組織の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全文化の醸成</li> <li>・医療事故防止のための組織的対策</li> <li>・危機管理</li> </ul>	
統合演習Ⅲ	演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する</li> <li>・事業企画書作成とプレゼンテーション</li> <li>・トップマネージャーとして自施設の組織を分析し改善計画を立案する</li> </ul>	48
	実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する</li> <li>・シミュレーション等</li> </ul>	
時間			186